

つらい時は 運がたまる

コメリアンの萩本欽一さんは ^{かん}運の流れにフイズよくご存知のちでした。

欽ちゃんと言うことには 運がたまる時と運が逃げていく時があるとのこと。

つらいことがあった時は 運がたまるとうです。

いじめられたり、人に嫌なこと言われたり、目まぐるしく働いたり、めっちゃくちゃ努力したり... そんな時を過ごすその後から大きな運がやってくるとうです。

しかし そんな時に文句を言ったり、人を恨んだり、マイナス言葉を言うと せつかくの運も 逃げていくとうです。つらい時は しっかり 運をためたいものですわ。

例えばこんなケースでも

自動車事故は誰もが嫌であり、つらい時です。そんな時は 流れに任せて事故解決にあたるのが 運をためることになるでしょう。

相手に厳しく攻撃したり、保険会社に無理な請求を言ったりすると 運が逃げていくこととなります。

例えば ここで 保険金をタダく受け取れることが出来ても 運が逃げてしまったので、後々大きなお金を手にするチャンスは無くなります。結果としては損することになるでしょう。 運を味方につける生き方がおすすめですよ。

あ地蔵さんだよ

2015年7月

ありがとう ありがとう

暑さの
お見舞い
申し上げます。



ソニックジャパン
金沢支店 支店長
(社)生命保険
ファイナンシャルアドバイザー協会 (JAIFA)
本部副会長 石川県協会会長
鳥越介順 (とりごえ かいじゅん)

運も意識する生き方

金欠ちゃんのお話のように私も 日々 運の流れを意識して、そして 運に頼って生きています。というも 人生を左右するのは 半分以上は 運の影響のように思えるからです。

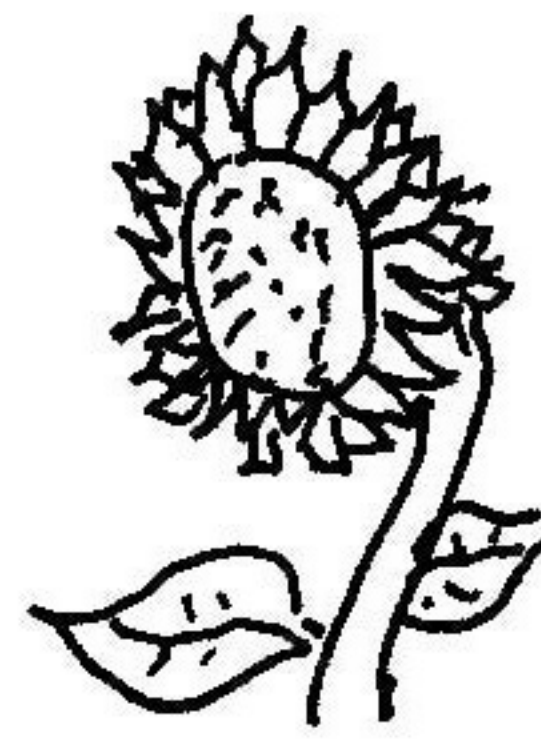
日々 運を意識していると 運が逃げる瞬間や 運がたまる時が 何となく感じられたりします。

目の前にいる人も

「うわぁ〜 運をためてるなぁ」

「もったいない!! 今、運が逃げたぁ〜」

と見え始めるから不思議です。

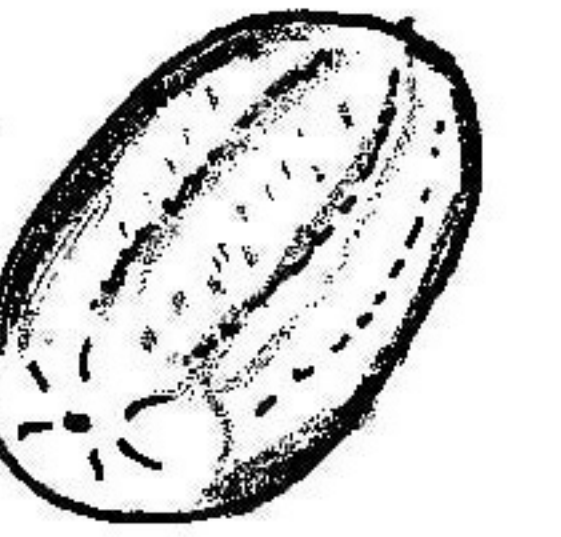


太きゅうりの思い出

私は 食べ物で苦手なものが1つだけ...

それは 今が旬の太きゅうりなのです。

その太きゅうりには 思い出があります。



私が小さいころ 荷車を引いて野菜を売るおばあさんが 我家の外の空スペースに 荷車を置かせてもらって おれに いつも 売れ残った野菜を 玄関に置いていく。その野菜の中には いつも 太きゅうりがあり、我家の夕食には 毎日 太きゅうりの あんかけ煮 が登場する。調味料も充実していない時代の あんかけ煮は かなりマズかった。

厳しい父だったので 食べものの好嫌いは言えずがまんして 食べる。食べ物を粗末に扱えない時代なので みんなど 完食。そして 次の日もまた 玄関には 太きゅうりが 置いてあるのです。今も その光景は 忘れられません。ある朝、家の中で一番に 玄関の太きゅうりを見つけた私は その太きゅうりを 隠して 後で 怒られた 思い出も...

がんばれ! ママさん!!

今の世の中で一番忙しい人は 総理大臣ではなく 子どもを持つ働くママたちだろう。時代の流れが 仕事と家事に カオス 運転手という役割を任す。ほとんどのママたちが 「毎日 送り迎えばかりやわ〜」と 嘆いている。いつの頃からか 子どもの塾や習い事やスポーツの 送り迎えを 親がするように なってしまった。私の妻も 夕いときは 年間3万kmも 走った ことを思い出します。

がんばって!! ママさん

今から夏休み!!

さらに応援したいと思います。